

館の運営方針	常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざした事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。
ジャンルの目標	
青少年の社会性や豊かな人間性をはぐくむ観点から、子どもの自然体験、芸術・文化体験、野外活動など、多様な体験活動をするなかで健全で自立した青少年の育成をめざす。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	バック・ステージ・ツアー	音楽ホールの普段見ることのできない裏回りの見学と演奏会を支えている音響・照明等を体験し、舞台芸術の理解を深める。
②	三角ヘリコプターを飛ばそう	紙やゴムや割りばしといった身近なものを使って簡単な手作りひこうき(ヘリコプター)を作成し、作ったひこうきで遊ぶ。
③	夏休み子ども水辺探検ツアー	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものにとらえる目を養う講座。
④	皆既月食と春の星空	皆既月食や春の星空についてやさしく解説し、実際に観測することにより星空の雄大さを感じ、自然科学に興味と関心を持ってもらう。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	「バック・ステージ・ツアー」や「夏休み子ども水辺探検ツアー」など次年度も継続して行おうと考えている事業については、内容の良いものは継承しつつプラスアルファなものを盛り込める工夫ができればよい。	
改善	次年度への課題と展望策	B	A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ()

総合評価	
A	事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。
	成果 どの事業においても講座参加者数が定員を超すか定員まで達しており、受講後の感想においてもおおむね好評である。主催事業を通じて公民館・音楽ホールというものが子どもたちにとって身近であり親しみの持てる拠点となることを望む。
	課題 どの事業においても講座参加者数が定員を超すか定員まで達しており、受講後の感想においてもおおむね好評である。主催事業を通じて公民館・音楽ホールというものが子どもたちにとって身近であり親しみの持てる拠点となることを望む。

★公民館運営審議委員意見

委員①	★事例発表の事業について ・子ども達の興味関心をそそるような魅力ある事業である。できればもっと事業内容を増やせると良い。 ・チラシやポスターもとても分かりやすい。
総合評価	A

委員②	★事例発表の事業について 興味ある企画を通して、親子の学習の様子がよくわかりました。
総合評価	A

委員③		★事例発表の事業について 音楽ホールの本物の舞台裏等、普段だったら見られない部分や、設備の体験は、子どもだけでなく、大人にも興味深いことだと思います。すばらしい取り組みに感謝いたします。
総合評価	A	

委員④		★事例発表の事業について ・バックステージツアー事業は臼井公民館ならではの事業であり素晴らしい企画です。子どもと共に保護者も体験を通して学ぶことが出来て良かったです。今後は、中学生や高校生を対象にした事業も実施できるように検討をしてください。
総合評価	A	

委員⑤		★事例発表の事業について 【バックステージツアー】 定番ツアーであり、楽しみに待っている方も多い。音響や照明体験など、夢中になって操作している様子が写真から伝わってくる。今年取り入れた打楽器体験では、地方ホールとして音響の良さで全国に名をはせる佐倉市民音楽ホールの音の響きを、十分に体感できたのではないだろうか。打楽器は、楽器ができなくても音楽を演奏するという体験にも直ちに繋がるため、音響の良いホールで演奏するという楽しさも同時に味わえたと思う。舞台の下には下の劇場や物語があること、舞台の上の劇場には、また違った上の劇場があり、上も下も一緒になって舞台という空間が初めて存在すること、協力して一つのものが作り上げられていくということを実感できるようなプログラムになっていることに感心させられる。 課題の一つに、「再度参加しても満足できるような内容を盛り込みたい」と掲げられているが、初心者・初体験させることはもっと重要だと思う。大変だとは思いますが、「リピーター用講座」を別に組み上げ、二刀流で事業展開できないものだろうか。
総合評価	A	

委員⑥		★事例発表の事業について 利用度の高い施設を会場に行う事業で実施までいろいろ計画を練られた事と思います。 アンケート結果から職場体験にも繋がる事業であったとすることで、ホールスタッフ・音響・照明など興味関心のある参加者にとっては何回でも参加したいでしょう。ぜひたくさんの方が参加できる有意義な事業に今後もなるようにしていただきたいと思います。
総合評価	A	

委員⑦		★事例発表の事業について 「バック・ステージ・ツアー」 一般社会人が知らない世界を経験・体験できる特殊な講座であり、高学年や社会人にも進めたい講座であります。将来は、生徒が演劇等を演じるグループと生徒やPTAの方が操作をするグループと、これらを鑑賞する3グループの講座を開くとより一層盛り上がると思います。
総合評価	A	

委員⑧		★事例発表の事業について ・新規に打楽器体験を盛り込む、パスポートの発行など、継続している人気事業ということに甘んずることのない、創意工夫を評価したい。中高生へのアプローチについては、大いに期待している。
総合評価	A	

委員⑨		★事例発表の事業について バックステージ・ツアーは、臼井公民館ならではの事業で、小学生に限らず保護者も興味をもてる事業であると思います。音楽ホールの稼働率の高さから難しい面もあるかと思いますが、市内唯一の音楽ホールという性格から、回数を増やし市内全域から参加者を募ることを考えたいと思います。毎年、事業の実施を望みます。
総合評価	A	

委員⑩		★事例発表の事業について 簡潔にまとめた発表で内容がよく伝わった。 より多くの子供たちが参加できることを考えると他の公演の関係が大きな課題だが夏休み以外の月にも開催できればと思う。
総合評価	A	

委員⑪		★事例発表の事業について 体験的な内容を取り込んだり、パンフレットの出来も良く、魅力的で私も参加させて欲しいと思った。対象が小学生、30人というのはいかにももったいない。評価はAとするが(中学の吹奏楽部、高校の演劇部などには実施されているのかも知れないが)時期を見つけるのは大変だろうが、是非地域や年齢枠を広げて欲しい。
総合評価	A	

委員⑫		★事例発表の事業について バックステージツアーは 小・中・高(保護者)向けの貴重な就労体験学習ですので、青少年教育事業としてもっと多くの人に見てもらえるよう継続して実施して欲しいと思います。
総合評価	A	

委員⑬		★事例発表の事業について 一般的には、バックステージツアーは、いろいろなところがやっていて(例えば、歌舞伎の奈落見学とか)内容的に興味があって、参加者も多いようです。今回の音楽ホールバックステージツアーでは、照明や音響の操作体験もあって多く好評でしたが、次年度には、他地区にも見学希望者が多くいると思いますので、他地区にも広げて、実施日や受講人数を増やすとかは、できないでしょうか？
総合評価	A	